2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年11月13日

上場会社名　　神戸天然物化学株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　6568　　ＵＲＬ　https://www.kncweb.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）真岡　宅哉
問合せ先責任者　（役職名）専務取締役管理本部長　　（氏名）閨　正博　　ＴＥＬ　078（955）9900

半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　2026年12月８日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	4,466	32.4	311	－	304	－	197	－
2026年３月期中間期	3,374	1.6	△0	－	11	△86.9	1	△98.1

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	25.64	－
2026年３月期中間期	0.13	－

（注）2027年３月期中間期の経常利益及び中間純利益の対前年中間期増減率は、1,000%以上となるため「-」と記載しております。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	20,894	14,023	67.1
2026年３月期	21,644	14,080	65.1

（参考）自己資本　　2027年３月期中間期　　14,023百万円　　2026年３月期　　14,080百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	16.00	－	17.00	33.00
2027年３月期	－	16.00			
2027年３月期（予想）			－	17.00	33.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	10.0	910	△11.2	890	△13.5	640	△16.5	82.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	7,779,900株	2026年３月期	7,779,900株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	150,380株	2026年３月期	38,580株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	7,711,653株	2026年３月期中間期	7,734,520株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（４）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はＴＤｎｅｔで同日開示しております。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況…… 2
（２）当中間期の財政状態の概況…… 2
（３）当中間期のキャッシュ・フローの状況…… 3
（４）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間貸借対照表 …… 4
（２）中間損益計算書 …… 5
（３）中間キャッシュ・フロー計算書 …… 6
（４）中間財務諸表に関する注記事項 …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間の国内経済は、中東情勢や自然災害の影響を注視する必要があるものの、緩やかに回復しました。個人消費や設備投資には持ち直しの動きがみられ、雇用情勢も改善傾向が続きました。一方で、消費者マインドの弱さや、米国の通商政策、金融資本市場の変動などが景気を下押しするリスクとなっており、先行きについても引き続き注意が必要な状況で推移しました。

このような状況の下、当社は中期経営計画の基本方針に沿って、引き続き生産ソリューション提供の拡大による事業構造の変革、新技術の開発、製造合理化等による一層の業績改善に注力してまいりました。

この結果、当中間会計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

機能材料事業部門におきましては、医薬・医療分野向け、および半導体関連材料の引合い好調を背景に、販売も好調に推移いたしました。量産ステージ、開発ステージともに前年同期を上回る水準で推移いたしました。その結果、売上高は1,768,408千円（前年同中間期比25.4％増）となりました。

医薬事業部門におきましては、量産ステージでは、大型品目の販売があった前年同期に比べ、当中間会計期間は同様の大型品目がなかったことから、前年同期を下回る水準となりました。一方、開発ステージは前年同期を上回る水準で好調に推移いたしました。その結果、売上高は1,341,712千円（前年同中間期比5.3％減）となりました。

バイオ事業部門におきましては、量産ステージが大きく前年同期を上回る推移に加え、開発ステージ品目につきましても当期間における販売が好調に推移したことから、全体として前年同期を上回る水準で進捗いたしました。その結果、売上高は1,356,175千円（前年同中間期比147.6％増）となりました。

利益面では、FP-4棟の稼働に伴う減価償却費や労務費などが前年同期を上回りましたが、増収による利益の押し上げ効果が費用の増加を上回り、全体として増益となりました。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は4,466,295千円（前年同中間期比32.4％増）、営業利益は311,540千円（前年同中間期は営業損失564千円）、経常利益は304,721千円（前年同中間期は経常利益11,248千円）、中間純利益は197,699千円（前年同中間期は中間純利益1,037千円）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間会計期間末における流動資産は7,774,015千円となり、前事業年度末に比べて37,296千円減少いたしました。これは主に仕掛品が705,054千円増加した一方で、売掛金が397,246千円、その他流動資産が402,523千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は13,120,436千円となり、前事業年度末に比べて712,342千円減少いたしました。これは主に減価償却費の計上等で有形固定資産が638,079千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は20,894,451千円となり、前事業年度末に比べて749,638千円減少いたしました。

（負債）

当中間会計期間末における流動負債は2,699,494千円となり、前事業年度末に比べて26,860千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が54,196千円減少したことによるものであります。

固定負債は4,171,098千円となり、前事業年度末に比べて666,094千円減少いたしました。これは主に１年内返済予定の長期借入金への振替により長期借入金が514,690千円、その他固定負債が161,256千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は6,870,593千円となり、前事業年度末に比べて692,954千円減少いたしました。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産合計は14,023,858千円となり、前事業年度末に比べて56,684千円減少いたしました。これは主に中間純利益計上等により利益剰余金が66,096千円増加した一方で、自己株式の取得等に伴い純資産の控除項目である自己株式が143,248千円増加したことによるものであります。

（３）当中間期のキャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2,268,188千円となり、前事業年度末に比べて94,926千円の増加となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間における営業活動の結果、得られた資金は1,150,564千円（前年同中間期は346,914千円の収入）となりました。これは主に棚卸資産の増加額667,546千円の資金減少要因があった一方で、減価償却費813,572千円、売上債権の減少額404,632千円の資金増加要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間における投資活動の結果、216,787千円の支出（前年同中間期は420,941千円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出211,089千円の資金減少要因があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間における財務活動の結果、838,849千円の支出（前年同中間期は70,130千円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出554,686千円、自己株式の取得による支出152,400千円、配当金の支払額131,539千円の資金減少要因があったことによるものであります。

（４）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社におけるサプライチェーンリスク、資材高騰、円安など外部環境からの影響は限定的であり、当期の業績予想は、2026年８月７日の「2027年３月期　第１四半期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

２．中間財務諸表及び主な注記

（１）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当中間会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,173,261	2,268,188
売掛金	1,734,729	1,337,482
製品	366,751	281,490
仕掛品	1,933,227	2,638,282
原材料及び貯蔵品	990,643	1,038,396
その他	612,698	210,174
流動資産合計	7,811,312	7,774,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,611,215	5,459,280
機械装置及び運搬具（純額）	4,160,624	3,694,667
土地	2,298,576	2,298,576
その他（純額）	206,827	186,640
有形固定資産合計	12,277,244	11,639,164
無形固定資産	60,955	52,549
投資その他の資産	1,494,578	1,428,721
固定資産合計	13,832,778	13,120,436
資産合計	21,644,090	20,894,451
負債の部		
流動負債		
買掛金	429,682	512,898
１年内返済予定の長期借入金	1,102,746	1,062,750
未払法人税等	112,535	58,339
賞与引当金	313,498	327,214
その他	767,891	738,291
流動負債合計	2,726,354	2,699,494
固定負債		
長期借入金	2,493,888	1,979,198
退職給付引当金	345,130	354,982
その他	1,998,174	1,836,917
固定負債合計	4,837,192	4,171,098
負債合計	7,563,547	6,870,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,995,106	1,995,106
資本剰余金	1,911,702	1,912,957
利益剰余金	10,077,640	10,143,737
自己株式	△43,041	△186,290
株主資本合計	13,941,407	13,865,510
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	139,134	158,348
評価・換算差額等合計	139,134	158,348
純資産合計	14,080,542	14,023,858
負債純資産合計	21,644,090	20,894,451

（２）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	3,374,205	4,466,295
売上原価	2,669,998	3,478,550
売上総利益	704,207	987,744
販売費及び一般管理費	704,772	676,204
営業利益又は営業損失（△）	△564	311,540
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,390	7,645
助成金収入	17,199	3,545
その他	3,130	5,603
営業外収益合計	26,719	16,794
営業外費用		
支払利息	14,847	21,814
その他	59	1,799
営業外費用合計	14,906	23,613
経常利益	11,248	304,721
特別利益		
固定資産売却益	39	94
受取保険金	－	15,914
特別利益合計	39	16,009
特別損失		
固定資産除却損	2,108	0
投資有価証券評価損	－	21,304
特別損失合計	2,108	21,304
税引前中間純利益	9,180	299,426
法人税、住民税及び事業税	5,039	36,348
法人税等調整額	3,103	65,378
法人税等合計	8,143	101,727
中間純利益	1,037	197,699

（３）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	9,180	299,426
減価償却費	443,265	813,572
賞与引当金の増減額（△は減少）	14,614	13,716
退職給付引当金の増減額（△は減少）	1,913	9,851
受取利息及び受取配当金	△6,390	△7,645
助成金収入	△17,199	△3,545
受取保険金	－	△15,914
支払利息	14,847	21,814
固定資産売却損益（△は益）	△39	△94
固定資産除却損	2,108	0
投資有価証券評価損益（△は益）	－	21,304
売上債権の増減額（△は増加）	1,330,877	404,632
棚卸資産の増減額（△は増加）	△801,819	△667,546
仕入債務の増減額（△は減少）	48,059	83,215
その他	△508,408	258,791
小計	531,008	1,231,578
利息及び配当金の受取額	6,390	7,645
助成金の受取額	17,199	3,545
保険金の受取額	－	15,914
利息の支払額	△15,389	△21,651
法人税等の支払額	△192,293	△86,468
営業活動によるキャッシュ・フロー	346,914	1,150,564
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券等の取得による支出	△3,252	△3,414
有形固定資産の取得による支出	△406,212	△211,089
有形固定資産の売却による収入	－	2,485
有形固定資産の除却による支出	－	△38
その他	△11,476	△4,732
投資活動によるキャッシュ・フロー	△420,941	△216,787
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500,000	－
長期借入金の返済による支出	△438,684	△554,686
自己株式の取得による支出	－	△152,400
配当金の支払額	△131,387	△131,539
その他	△59	△224
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,130	△838,849
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△144,156	94,926
現金及び現金同等物の期首残高	2,385,561	2,173,261
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,241,405	2,268,188

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

当社の事業は、事業セグメントの集約基準に基づいてこれらを集約し、「有機化学品の研究・開発・生産ソリューション事業」を単一の報告セグメントとしております。そのため、セグメント情報を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年８月７日開催の取締役会決議に基づき、自己株式120,000株の取得を行いました。この結果、当中間会計期間において自己株式が152,400千円増加し、当中間会計期間末において自己株式が186,290千円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。